規格外や低未利用品の有効活用

加賀野菜「五郎島金時(さつまいも)」を活用したカット野菜の開発製造販売

加賀野菜「五郎島金時」の下位等級品を活用し、通年一定品質でブランド力を維持することにより、既存の市場製品と差別化した商品開発を行い、新たな販路開拓を行う。

> 連携体

農林漁業者

JA金沢市五郎島さつまいも部会(農業)

高品質な五郎島金時の栽培技術力を活かし、安定した生産・履歴管理に取り組む。

中小企業者

(有)かわに (食料品製造業)

カット野菜の開発・製造に取り組み、五郎島金時の新しい販路拡大に取り組む。

サポート機関等

地域活性化支援事務局

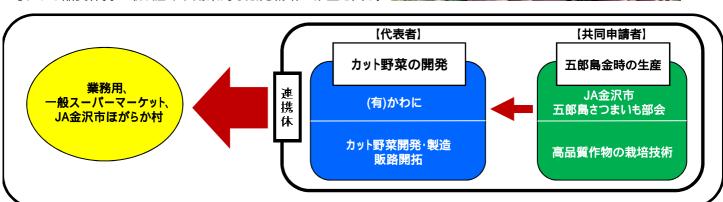
> 連携の経緯

五郎島金時は、JA金沢市五郎島さつまいも部会によって主に生 芋で出荷されていたが、生芋だけでは販売力が弱く、加えて下位 等級品の安定した流通が行えなかった。そこで従来から五郎島金 時のペースト加工を行っていた(有)かわにとその加工能力を生 かした五郎島金時の新しい販路拡大を検討し、下位等級品を活 用したカット野菜という新しい連携事業を開始するに至った。

▶ 連携に当たっての課題や工夫等

JA金沢市五郎島さつまいも部会は、圃場ごとに施肥・潅水の工夫を行い食味の安定に努めている。また、収穫後に低温施設等に貯蔵し、収穫後の品質・食味の保全に努めている。(有)かわにはさつまいも加工技術を生かし、不揃いのさつまいもや傷のついたものでも、加工により一定品質の商品を提供することが可能となるよう、作業工程の見直しや、食味・品質の安定について研究を行う。また、他社商品との差別化を図るため、キュアリング処理等による品質保持の取り組みや効果的な販売戦略の確立を図る。





▶ 連携による効果

農林漁業者

4年で3,000万円の売上高増加、下位等級品の高付加価値化

五郎島金時の下位等級品を利用したカット野菜が流通することで、収益性の向上が期待される。

中小企業者

4年で6,375万円の売上高増加、新規需要開拓

ブランド力のある五郎島金時のカット野菜を新たに展開することにより、収益性の向上が期待される。

> 代表企業等の連絡先

企業等名:有限会社かわに 所在地:石川県金沢市粟崎町ホ92番地3

T E L : 076-267-2976 F A X : 076-267-2973 E - m a i I : info@kawani.jp $-4 \wedge -9$: http://kawani.jp